

2026年3月期 第1四半期

決算説明資料

2025年8月8日

日特建設株式会社

©2025 NITTOC Co.,Ltd.

Message

見えないところにこそ、私たちのプライドがある

社是

私たちは、見えないところにこそ、
誠実に技術を提供して、社会から必要とされる
企業であり続ける

経営理念

Mission

- 使命

安全・安心な国土造りに
貢献する会社

Value

- 価値観

基礎工事における総合技術力と
効率的な経営

Vision

- あるべき姿

信頼される技術力に培われた、
環境・防災工事を主力とした
基礎工事のエキスパート

1	連結 業績サマリー	P4~5
2	連結 四半期推移	P6~7
3	連結 工種別推移	P8~10
4	連結 貸借対照表	P11
5	連結 業績予想	P12
6	トピックス	P13

1-①.連結業績数値 サマリー (単位：百万円)



◆ 受注高：前期比111%、前々期比123%

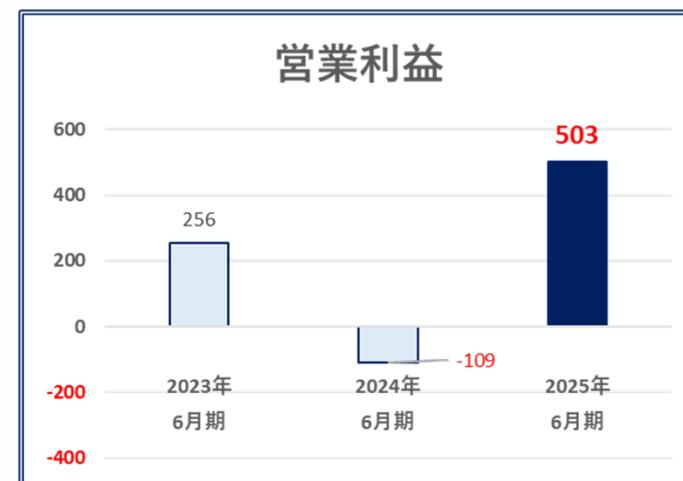
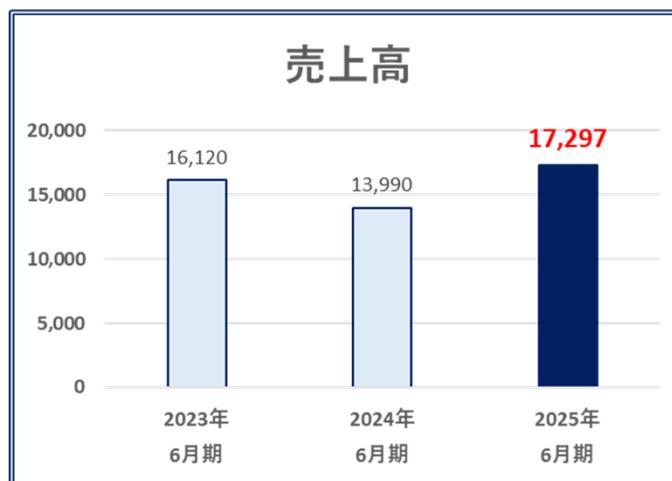
基礎・地盤改良工事での北海道新幹線延伸工事などの大型工事獲得や連結子会社に加わった麻生フォームクリート株式会社の計上分などにより、前期比111%。

◆ 売上高：前期比124%、前々期比107%

当第1四半期連結累計期間に寄与する手持ち工事が多かった影響や麻生フォームクリート株式会社の計上分などにより、前期比124%。

◆ 営業利益：前期より黒字転換 (損益改善額：+612百万円)、前々期比196%

売上高の増加や麻生フォームクリート株式会社の計上分などにより、前期赤字から黒字転換、損益改善額+612百万円。



1-②.連結業績数値 サマリー（単位：百万円）



連結	2023年 6月期	2024年 6月期	2025年 6月期	対前年	
				差異	%
受注高	17,784	19,615	21,814	2,199	111%
売上高	16,120	13,990	17,297	3,307	124%
完成工事総利益	2,373	2,143	2,927	784	137%
販売費及び一般管理費	2,116	2,252	2,424	172	108%
営業利益	256	△ 109	503	612	—
経常利益	325	△ 50	567	617	—
親会社株主に帰属する四半期 当期純利益	176	△ 63	362	425	—

※営業利益、経常利益および親会社株主に帰属する四半期当期純利益については、前期が赤字のため増減率は算定しておりません

2-①.連結 四半期推移（単位：百万円）

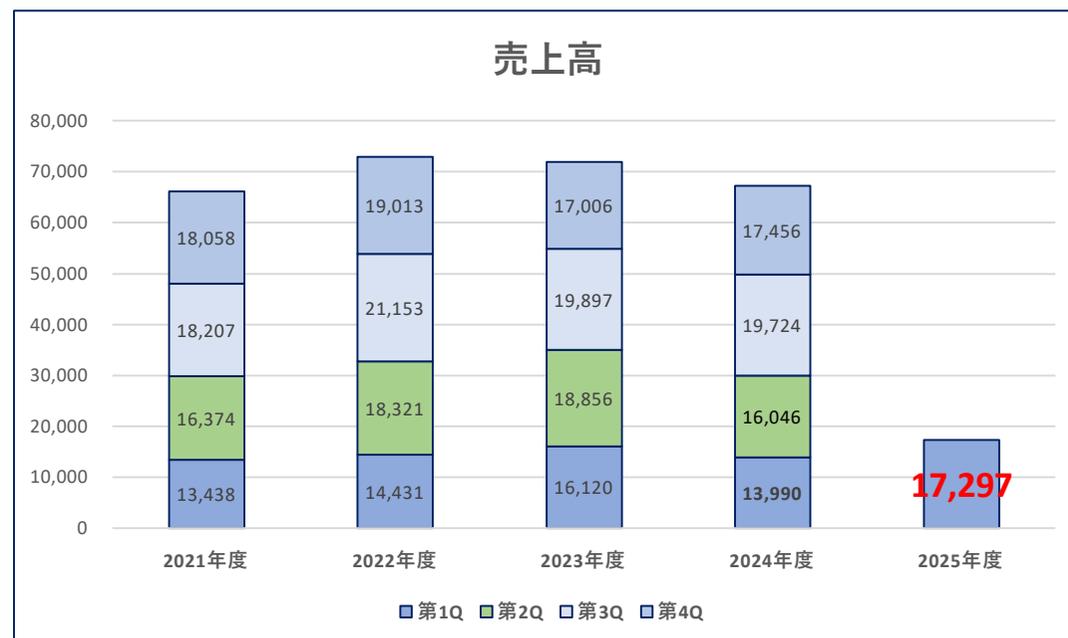
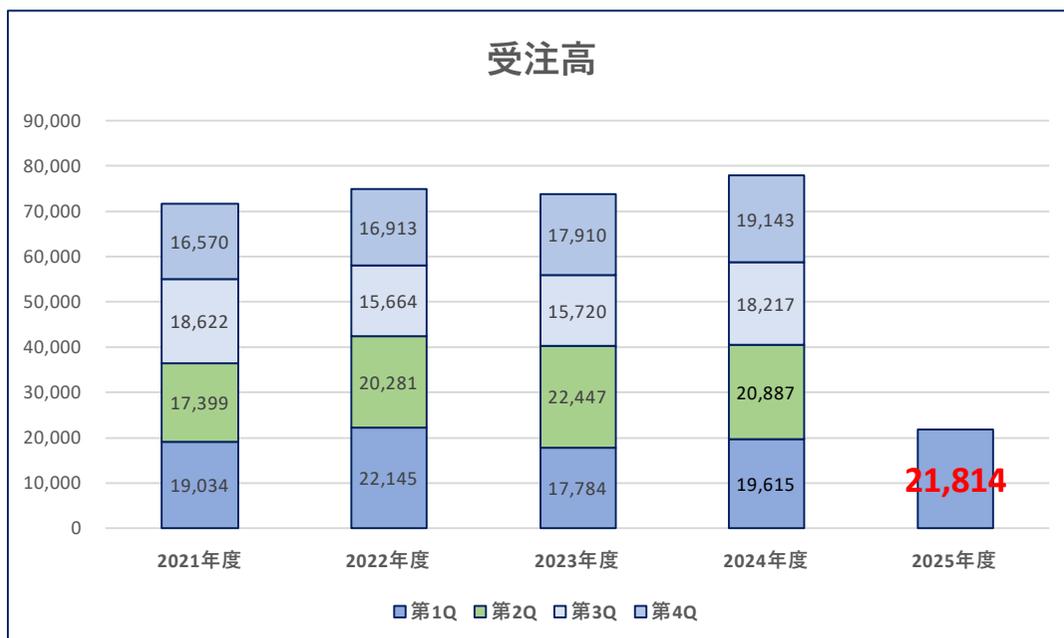


受注高：第1四半期期間（4-6月）218億円（前期比111%）21億円の増。

基礎・地盤改良工事での北海道新幹線延伸工事などの大型工事獲得や麻生フォームクリート株式会社の計上分などにより、前期比111%。

売上高：第1四半期期間（4-6月）172億円（前期比124%）33億円の増。

当第1四半期連結累計期間に寄与する手持ち工事が多かった影響や麻生フォームクリート株式会社の計上分などにより、前期比124%。



2-②.連結 四半期推移（単位：百万円）



売上総利益率：第1四半期期間（4-6月）**16.9%**（前年同期**1.6ポイント**向上）

売上高の増加に加え、当第1四半期連結累計期間においても全社を挙げて受注時からの原価統制を継続したことなどにより、売上高利益率は16.9%。

営業利益：第1四半期期間（4-6月）**5億円**（前年より**6億円増**）

売上高の増加に加え、麻生フオームクリート株式会社の計上分が加わったことなどにより、前期赤字から黒字転換、損益改善額+612百万円。

売上総利益率



営業利益



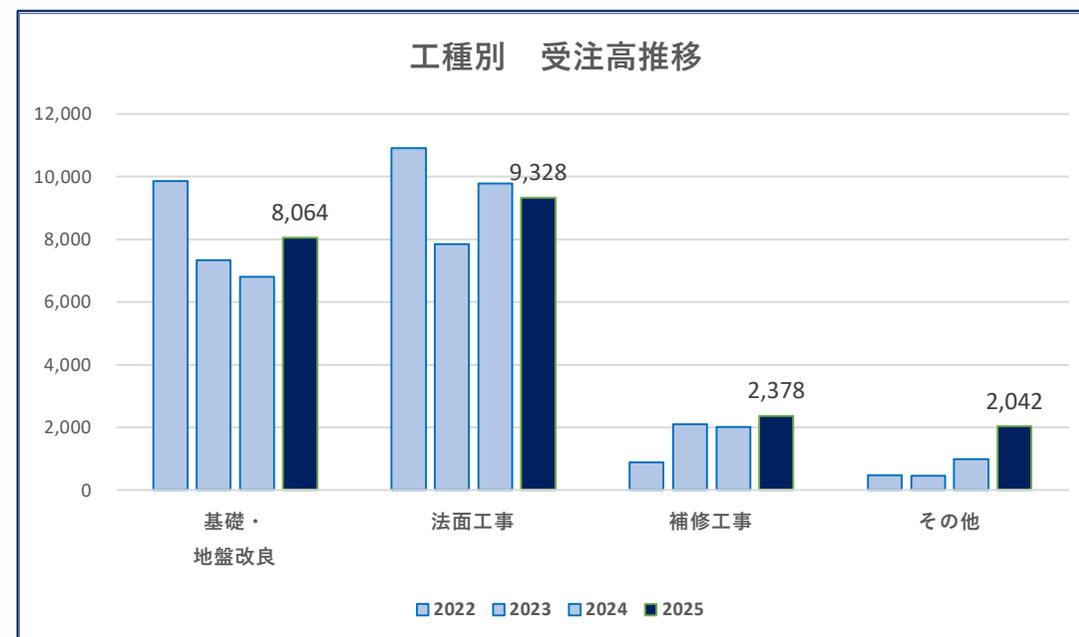
3-①.連結 工種別受注高（単位：百万円）



基礎・地盤改良工事：80億円（前期比118%） 法面工事：93億円（前期比95%）

基礎・地盤改良工事は、北海道新幹線延伸工事などの大型工事の受注により、前期比18%増、法面工事は、前年の大型工事受注の反動減により前期比5%減となるが高水準を維持、全体では前期比111%。

受注高 (連結第1四半期)	2022 年度	2023 年度	2024 年度	2025 年度	対前期	
					増減	%
基礎・地盤改良工事	9,855	7,348	6,806	8,064	1,258	118%
法面工事	10,905	7,859	9,789	9,328	△ 461	95%
補修工事	896	2,113	2,030	2,378	347	117%
その他	487	461	988	2,042	1,054	207%
合計	22,143	17,781	19,615	21,814	2,199	111%



3-②.連結 工種別売上高（単位：百万円）

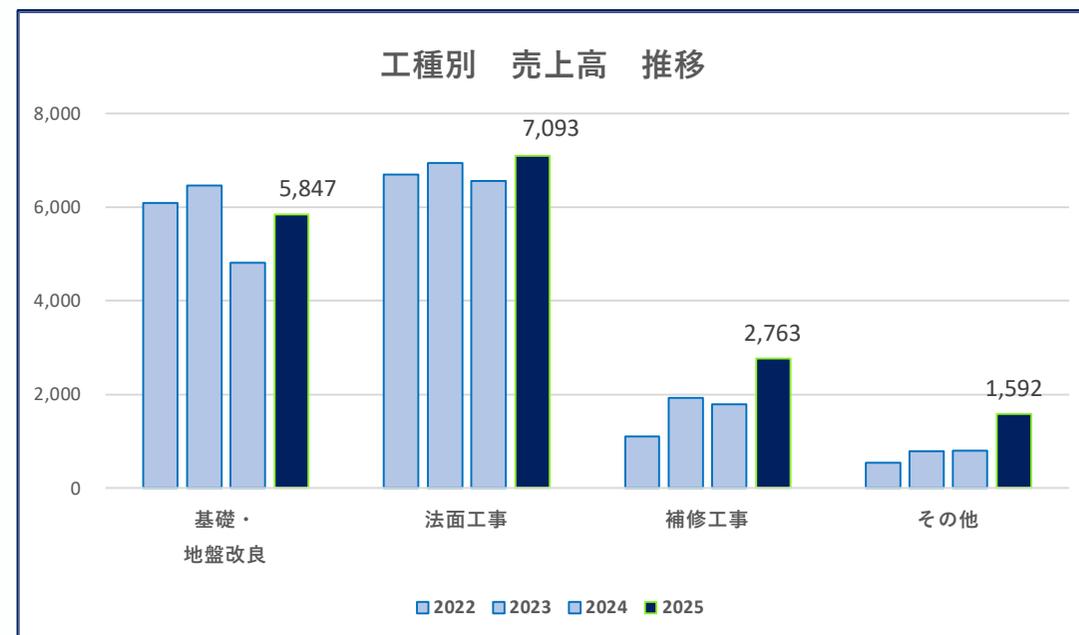


基礎・地盤改良工事：58億円（前期比121%） 法面工事：70億円（前期比108%）

補修工事：27億円（前期比154%）

第1四半期連結累計期間の手持ち工事が多かったことや、基礎・地盤改良工事、補修工事については麻生フォームクリート株式会社の計上分などにより、前期比124%。

売上高 (連結第1四半期)	2022 年度	2023 年度	2024 年度	2025 年度	対前期	
					増減	%
基礎・地盤改良工事	6,090	6,457	4,820	5,847	1,026	121%
法面工事	6,693	6,939	6,565	7,093	527	108%
補修工事	1,110	1,934	1,799	2,763	964	154%
その他	536	787	804	1,592	788	198%
合計	14,431	16,120	13,990	17,297	3,307	124%



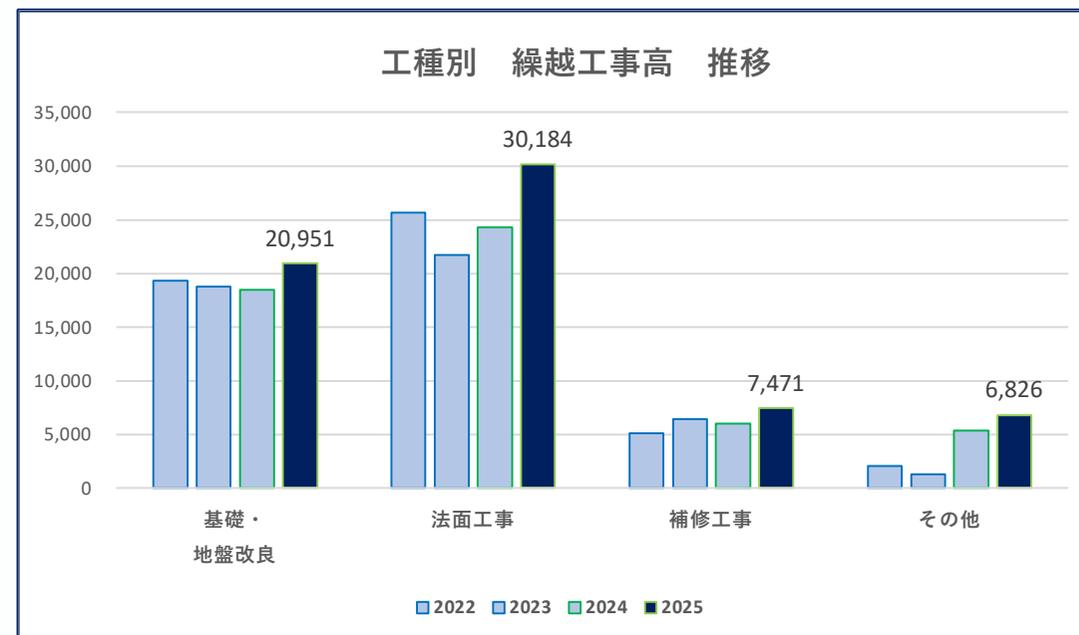
3-③.連結 工種別繰越工事高（単位：百万円）



基礎・地盤改良工事：209億円（前期比113%） 法面工事：301億円（前期比124%）

基礎・地盤改良工事が前期比113%、法面工事が同 124%、補修工事が同 124%となり、前期比121%の繰越工事高を確保。

繰越工事高 (連結第1四半期)	2022 年度	2023 年度	2024 年度	2025 年度	対前期	
					増減	%
基礎・地盤改良工事	19,342	18,784	18,519	20,951	2,432	113%
法面工事	25,683	21,733	24,303	30,184	5,880	124%
補修工事	5,132	6,439	6,005	7,471	1,466	124%
その他	2,074	1,310	5,377	6,826	1,449	127%
合計	52,231	48,266	54,207	65,434	11,227	121%



4.連結 貸借対照表（単位：百万円）



資産の部

	2024年 6月期	2025年 3月期	2025年 6月期
流動資産	39,650	40,342	39,804
うち、現金預金	21,571	18,151	18,791
うち、受取手形・完成工事未収入金等 ・電子記録債権	16,067	20,191	18,825
うち、未成工事支出金	377	349	370
固定資産	12,822	16,603	17,356
有形固定資産	6,599	9,879	10,383
無形固定資産	538	476	479
投資その他の資産	5,684	6,247	6,493
資産合計	52,473	56,946	57,160

負債・純資産の部

	2024年 6月期	2025年 3月期	2025年 6月期
流動負債	15,361	17,547	18,500
うち、支払手形・工事未払金等	10,410	12,359	10,189
うち、未成工事受入金	1,470	1,258	1,864
固定負債	4,026	4,830	4,787
負債合計	19,387	22,378	23,288
純資産の部	33,085	34,567	33,872
負債純資産合計	52,473	56,946	57,160

総資産は57,160百万円、これは主に現金預金の増加や、地盤改良工事の受注拡大を目的とした機械装置の購入による機械、運搬具及び工具器具備品の増加などによる。負債合計は23,288百万円、これは主に電子記録債務やその他（未払費用）などの増加による。純資産合計は33,872百万円、株主還元の目標のもと配当を実施したことなどによる。

5.連結 業績予想（単位：百万円）



連 結	2023 年度 実績	2024 年度 実績	2025 年度 予想	対前年		対前々年	
				差異	%	差異	%
受注高	73,861	77,861	77,000	△ 862	99%	3,139	104%
売上高	71,881	67,216	76,000	8,783	113%	4,119	106%
完成工事 総利益	12,708	12,562	14,700	2,137	117%	1,992	116%
販管費	8,352	8,883	9,700	816	109%	1,348	116%
営業利益	4,357	3,679	5,000	1,320	136%	643	115%
経常利益	4,397	3,764	5,000	1,235	133%	603	114%
親会社株主に帰属する 当期純利益	3,066	2,408	3,350	941	139%	284	109%

通期業績予想については、現段階では、2025年5月9日に公表いたしました数値から修正はありません。

今後の受注や業績動向により修正の必要が生じた場合は速やかに開示いたします。

第2四半期以降は、更なる受注高確保、利益確保のため施工の促進と原価低減に努めてまいります。

6.能登工事事務所開設

2025年4月1日に開所した能登出張所につき、能登工事事務所および現場宿舎が完成し、6月30日に開所式を執り行いました。今後は本施設を拠点とし、全社一丸となって能登地域の復旧・復興工事に取り組むとともに、地域の皆様への貢献に努めていきます。



地理院地図（一部改変） © 国土地理院 (<https://maps.gsi.go.jp>) CC BY 4.0



↑
左：現場宿舎（2フロア 25部屋）
右：工事事務所

石川県輪島市の熊野隧道の道路災害復旧工事等に携わっています。